

平成 26 年度第 7 回（135 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 27 年 1 月 20 日午後 2 時から

場 所：生涯学習センター講座室 1

出席者：菊谷隆、大津里美、吉岡袈裟喜、鬼澤義信、法性由紀枝、川原寿春、
渡辺正宏、内田貞司、山下文夫、今間洋一、柴田正子、山本強、大槻義顯、
林光夫、芹澤正男

事務局：市民協働係長、主任

欠席者：長谷部勝也、竹森菜摘、車崎祥子、小寺茂、白井航也

<配布資料>

- 1 平成 26 年度第 6 回（第 134 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 提案「清瀬市の国民総幸福量調査の実施」回答
- 3 提案「外気舎記念館の周辺を公園として整備を、また公開を」資料

1 開会

2 前回の確認

委員長：前回の議事要旨の確認をしてもらいたい。

委 員：訂正無し。

<委員了承>

3 提案審議

委員長：提案「清瀬駅前イベント等の案内看板を設置し、ポスター掲示しては
いかがでしょうか！」の回答について確認してもらいたい。

委 員：訂正無し。

<委員了承>

委員長：提案「太陽光エネルギーの活用 外灯のソーラー化」について事務局より
情報をお願いしたい

事務局：外灯は市道か都道かで設置の管轄が違ってくる。新たに電柱から設置と
なると予算的な問題となってくる。現在、児童センターの駐車場にソー
ラー灯を設置している。またけやきホールでも風力と太陽発電の電灯を

設置している。日照の関係で暗い時もあり、バッテリー交換も必要となる。資料は佐賀市の新エネルギー設備の導入実績事例と街路灯導入事例集を配布させていただいた。

委員長：実際に取り入れるかは予算が問題となってくる。太陽エネルギー発電については佐賀市が先駆的に実施している。

委員：児童センターの駐車場は避難所となるようなソーラー灯の設備となっている。

委員：現在徐々に街路灯をLED化している。

委員：太陽光も風力も、その設置する場所によって効率良く考えなくてはならない。提案に対して行わないという答えはどうかと思う。

委員長：予算を検討し、設置していくことを働きかける内容でどうか。

委員：畑近くに外灯をつけると、野菜が寝られないことや虫がよってくることから農家サイドからは遠慮して欲しいとの話がある。

委員：設置するにしろ、効果や状況を見て設置しなくてはならない。

委員長：市内の既存のソーラー灯と今のモデルは性能が違うので比較することは難しい。

委員：新庁舎には自然エネルギーは導入されるのか。

事務局：清瀬市新庁舎建設基本計画の庁舎イメージでは省エネルギーの積極的な活用をする予定となっている。

委員長：今導入しているのを検証してもらい、費用対効果の面で実証されれば採用してもらいたいような回答とするか。

委員：児童センターのデータを検証するのは難しいと思う。

委員：夜は人がいないので必ず必要とは限らない。

委員：オリンピックに伴う利用拡大として行うか、コストの面から設置していくのか難しい。

委員長：児童センターのデータを調べてみる。次に提案「外気舎記念館の周辺を公園として整備を、また公開を」について前回に引き続き検討していきたい。

委員：郷土博物館の審議会でも同じ様に外気舎関連を話し合っていると聞いた。

事務局：清瀬市文化財審議会は文化財を認定するまでの委員会である。

委員：東京病院は自分の敷地内を公園化することに対してどのような考えを持っているのかを伺っても良いと思う。

委員：公園を作るにしろ、多額の費用がかかるのであれば作るのはどうかと思う。

委員長：公園にするためには、東京病院と市のどちらにまず許可を取れば良いのか。

委員：まずは東京病院の許可が必要であると思う。

委員：外気舎の文化財指定はどちらからの話であるのか。

委員：市からである。

委員：東京病院は一般開放しているのか。

委員：原則一般開放はしていないが花見の時期など、地域の方が多く敷地内で花見を行っているのを見る。

委員長：まず東京病院に、病院の敷地内を公園とすることについて話をしてみても良いと思う。

次回 2 月 17 日、14 時より生涯学習センター講座室 1 で行なう